

バズる ディスる

令和5年もあと僅かになりました。大河ドラマのどうする家康も、下剋上甲子園も終わり、日曜の夜の楽しみが少なくなっていました。

それはともかく、インフルエンザの流行が本格化しつつ、コロナの流行もしぶとく続いています。年末年始の他人との接触には十分な配慮が必要です。

ところで先日の医学系ニュースにこんな記事が載っていました。

「コロナ感染症の流行にあって中傷や差別が広がる中、バズったのが AC ジャパンの CM「寛容ラップ」でした。相手をディスらないラップバトルで、たたくよりたたえあうもので(中略)、強く印象に残っています。(中略)。インフォデミック対策としてはリテラシーの向上、ファクトチェック、(中略)、レジリエンス強化が有効で感染対策でたたいて良いのは病原体のみです。(以後略)」

さてこの文章を何の違和感もなくすっと頭に入る方は開業医の中でも若い方ではないでしょうか？そもそも AC ジャパンの CM がコンビニのレジの前でもたもたしているおばあさんのあれか！とわかることが必要で、さらにバズるとかディスるというネット用語が当たり前の世界でさらにリテラシー(正確な知識)やレジリエンス(折れない心)

という英語に慣れていることが要求されます。日本人のくせにこういった横文字を使うなど言うのは古き昭和世代の考え方で、今はこれについていかなければ、若者との会話は成立しないかもしれません。

それにしても紅白歌合戦にしてもほとんど知らない歌手ばかりになってしまいました。サザンだけが私の心の支えです。桑田さんにはまだまだ頑張ってもらいたいです。

